

## 【説明会 Q&A】

### Q1 体験活動プログラムと GO GLOBAL 等の留学の違いを教えてください。

A： 東京大学では、海外渡航を伴う体験活動プログラム、全学交換留学やサマープログラム等の短期留学までさまざまな留学プログラムがあります。

プログラムごとに目的や内容はさまざまですので、ご自身でプログラムをよく調べて、自分に適したプログラムに参加できるように違いを探してみてください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-index.html>

### Q2 奨励金の金額を教えてください。

A： 昨年度の奨励金額は以下のとおりです。

○海外プログラム

- ・東アジア/オセアニア/東南アジア地域 40,000 円
- ・南アジア/中東/北米/ヨーロッパ地域 80,000 円

○国内プログラム

- ・宿泊費：1泊あたり 5,000 円
- ・交通費：大学の規定に基づき算定し、算定額の 8 割を支給します。

※交通費と宿泊費の合計額が 25,000 円を超える場合は、25,000 円を上限とします。

今年度の奨励金は申請状況をみて判断するので、予算状況により減額を含めて変動する可能性があることをご了承ください。

### Q3 プログラムによると思いますが、途中参加、途中退会は可能でしょうか。

A： 体験活動プログラムは自主活動ですが、授業と同等の学内行事です。

どのプログラムも途中参加、途中退会は認めることができません。

2つのプログラムに申し込む方や大学の他のプログラムに応募する方は、期間の重複にくれぐれも気を付けてください。

活動を通し参加できるプログラムへの応募をご検討ください。

### Q4 留学生は国内のプログラムに参加できますか。また日本語能力についてはなにか要求がありますか。

A： 参加可能です。参加条件については、募集要項の参加資格、備考欄をご確認ください。

### Q5 フィールドスタディ型政策協働プログラム(FS)と、同時に申請することはできますか。

A： FS との同時申請は可能ですが、学業との両立やスケジュール調整、ご自身の体調管理をしっかりと行うことが必要になります。

### Q6 現在 4 年生で大学院に進学せず卒業する予定なのですが、開催時期などによっては参加できないプログラムが存在するのでしょうか。

A： すべてのプログラムは、年度内に終了します。当該年度に在籍している学生は参加可能です。

### Q7 海外体験活動プログラムは、例年定員以上の応募があるのでしょうか。

その場合、倍率はどのくらいになるのでしょうか。

A： 年度とプログラムによりませんが、昨年度は募集枠に対して多数のご応募をいただいたプログラムもありま

した。倍率は、その年の状況によるため何とも申し上げられません。

**Q8 参加資格に語学力についての記載が特に無い場合は、語学力については不問であるということですか。**

A： 滞在中に現地の人と話す機会はあると思いますので、ある程度英語を話す力は必要ですが、本学の入学者選抜を通過している時点で、語学力についてさほど心配をする必要はないかと思います。

**Q9 海外プログラムの中には現地集合現地解散のプログラムがあると思うのですが、安全への懸念はありますか。**

A： 海外で現地活動をおこなうプログラムに参加する方は、危機回避を学んでいただくため危機管理セミナーに参加いただきます。

また、体験活動期間中をカバーする海外旅行保険については、大学が一括して手続きを行い、保険料も大学が負担します。

※ただし、体験活動の前後に私的旅行をされる場合、その期間に対応する保険についてはご自身で別途加入・ご負担いただく必要がありますので、ご注意ください。

**Q10 活動前のオリエンテーションや事前プログラム等がある場合、オンラインで行われますか。**

A： 現地活動に向けたオリエンテーションや事前ミーティングの回数や実施方法はプログラムによって異なりますが、オンラインで実施することが多い傾向にあります。近年は対面で行うケースも増えています。

**Q11 例年参加者の学年の比率はどのようになっていますか。**

A： 体験活動プログラムのホームページ「10.資料 ●活動報告書」をご覧ください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/h19.html>

各年度の報告書の1～2ページに応募、参加状況を公開しておりますので、ご参考ください。

**Q12 どのプログラムが特に人気があるか、可能な範囲で教えてください。**

A： 募集定員数はプログラム毎に異なり、倍率は、その年の状況によるため何とも申し上げられません。

興味があるプログラムがございましたら、第一希望のプログラムに申し込みされることをおすすめします。

**Q13 プログラム開催地への移動や、プログラム中の滞在先などの手配について詳しく教えてください。**

A： 移動手段や滞在先の手配は、プログラムごとに異なります。

たとえば、海外で実施されるプログラムでは、日本から受け入れ先の方と同じ便で出発し、滞在先も一緒に手配される場合があります。一方で、飛行機や宿を参加者自身で手配する形式のプログラムもあります。その場合でも、参加者同士で相談しながら移動や宿泊を決めていることが多く、宿泊エリアについては受け入れ先の方がアドバイスをくださることもあります。

国内プログラムでも、個人で手配する形式の場合は基本的に同様です。

**Q14 海外に交換留学中でも参加できますか。**

A： プログラム期間中に活動場所にいられる場合は、交換留学中でも参加可能です。

奨励金については、参加形態により取り扱いが異なります。日本から出発し、日本に帰国する行程の場合は既定の奨励金を支給しますが、交換留学先から参加しそのまま滞在を継続する場合などは、奨励金の金額が変わる可能性があります。

また、大学で加入する「付帯海外留学保険」は、日本出発または日本帰国を含む行程でないと適用対象

外となります。このため、交換留学先から参加する場合は、プログラム期間をカバーする保険にご自身で加入していただく必要があります。

いずれの場合も、参加形態や条件により対応が異なりますので、留学に関わる場合は事前に体験活動推進チームまでご相談ください。

**Q15 各プログラム要項に記載されている「【総額】参加するための費用」は、奨励金を差し引いた後の金額ですか？**

A： 奨励金を差し引く前の金額です。活動終了後に奨励金が支給されることで、最終的な自己負担額が確定するイメージになります。

**Q16 体験活動プログラムの報告書を見ると採択者の男女比がほぼ同数になっていますが、選考の過程で性別は考慮されていますか？**

A： 毎年、応募者の男女比自体がほぼ同数となっており、大学として性別に関するルールや配慮を設けているわけではありません。選考については各受け入れ先にお任せしていますが、応募時点で大きな偏りがないため、結果として採択者もほぼ同数となっているケースが多いようです。

**Q17 応募人数が募集定員を超えた場合、学年が上の方が優先されることはありますか？**

A： 応募者多数となった場合の選考は、各受け入れ先にお任せしています。  
大学として、学年やその他の条件に応じて優先順位を設けるといったルールは設けていません。